

若い力で大野活性化

「こまちなみ研究所」結成

季節ごとくに催し企画

大野町地区の若手住民らが20日までに、地区の魅力向上へアイデアを発案イベントなどを企画する会「大野こまちなみ研究所」を結成した。メンバーは若者の才能や得意分野を生かした催しなどに向けて計画を進めており、「若い世代の観点を盛り込んで、にぎわいあるまちづくりを進めたい」と意気込みをみせている。

大野こまちなみ研究所のメンバーは20、40代で、同町住民のほか、同町に関心を寄せる市内の建築家や写真家、保育士らでつくる。月に1回程度、同町2丁目の「もろみ蔵」に10人前後が集まり、しょらう蔵や町家を生かし、活動を進めさせた。

昨年10月に開催した「大野こまちなみフェスタ」(北國新聞社後援)の企画委員会の延長として、フェスタ終了後もメンバーが集まり、活動を進めさせた。

これまでで、初夏から小学生に町内全体でアサガオの育成に取り組んでもらい、11月に「種取祭」を行うことを決めた。このほか、大野町の名所を

毎年恒例のイベントをさらに発展させるとともに、規模は小さくても年間を通じて季節ごとにイベントを開催し、継続的な誘客を目指す。

これまでの会合で、大野お台場公園でのクラフトマーケットの開催など、個性豊かなアイデアが提案されている。メンバーは今後、企画の実現に向けて関係団体と調整を進める

会をまとめる、直醬油(同町1丁目)の直江潤一郎社長は「多種多様な人がまり、自由な発想力を生かして町の魅力を出したい」と話した。



イベント企画について話し合うメンバー
大野町2丁目



地域の観光モデルコースをたどる参加者
大野町1丁目

完成記念イベント

金石・大野まちづくり協議会は20日、両地区の見どころを紹介する「まちめぐりマップ」の完成を記念したウォーキングイベントを開いた。参加者14人がマップに掲載されたモデルコース

野協 大野まちづくりコースの地図掲載のコースを巡る

大野協 参加者は幕末の科学者大野弁吉の墓がある傳泉寺やしょうゆ蔵を再生した醬蔵など大野地区をたどった後、市指定有形文化財の専長寺や藩政期の豪商銭屋五兵衛の墓がある本龍寺など金石地区を巡った。それぞれの地区の住民が見どころを紹介した。

同協議会の麻井與喜男会長は「あらためて両地区を巡り、認識を新たにした。観光客らに魅力を紹介したい」と話した。

を歩き、地域の魅力に理解を深めた。

大野協 参加者は幕末の科学者大野弁吉の墓がある傳泉寺やしょうゆ蔵を再生した醬蔵など大野地区をたどった後、市指定有形文化財の専長寺や藩政期の豪商銭屋五兵衛の墓がある本龍寺など金石地区を巡った。それぞれの地区の住民が見どころを紹介した。

同協議会の麻井與喜男会長は「あらためて両地区を巡り、認識を新たにした。観光客らに魅力を紹介したい」と話した。